インフォメーション・コーナー

会　告
○平成 23 年度農業農村工学会大会講演会（福岡大会）の
企業展示および広告掲載申込みについて　**申込締切 6 月 30 日** ……66
○平成 23 年度「研究グループ」の助成金募集について　**申請締切 6 月 30 日** ……67
○平成 23 年度「戦略的研究申請支援」の助成金募集について　**申請締切 9 月 16 日** ……67
○平成 23 年度農業農村工学会学術基金援助希望者募集について（再）　**申請締切 4 月 28 日** ……68
○「農業農村工学会学術基金」への募金について……68
○「水土の知（農業農村工学会誌）」閲読者の氏名公表とご協力のお礼 ……69
○「農業農村工学会論文集」閲読者の氏名公表とご協力のお礼……69
○学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集!! ……70
○農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてのお願い……71
○平成 24 年の表紙写真の募集　**春季締切 6 月 30 日** ……71
○「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！ ……72
○国際学会「国際水田・水環境工学会」への入会のお願いと国際ジャーナル
「Paddy and Water Environment」について ……73
○国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと
2009 年 1 月から 2011 年 12 月までの編集事務局（投稿先）のお知らせ ……73
○第 68 回京都支部研究発表会の開催について（第 1 報）Ⓑ　**発表申込締切 6 月末日** ……74
○農地保全研究部会第 32 回研究集会の開催について（第 1 報）Ⓑ　**11 月 10，11 日開催** ……75
農業農村工学会論文集第 272 号内容紹介……76
学会記事 ……78

会員の皆様へお願い

4 月には転勤・卒業等で多くの会員の方々が異動されます。

引き続き学会誌を正しくお届けするため，学会に登録されている会員データに変更が生じる場合は，ご連絡いただきますようよろしくお願い致します。

なお，学会誌を職場等で連絡委員を通じてお受取りの方は，連絡委員にその旨，お申し出下さい。

それ以外の学会誌を自宅等でお受取りの方は，学会事務局までご連絡下さい。

詳しくは，学会ホームページの「入会案内・入会（退会）手続き」（http://www.jsidre.or.jp/guide/nyukai.htm）をご覧下さい。

第 79 巻第 5 号予定
展望：田中忠次
小特集：土構造物および土中構造物の数値解析とその適用
①動的有効応力解析によるフィルダムを対象とした液状化解析：林田洋一ほか
②施工課程を考慮した埋設パイプの数値解析：毛利栄征ほか
③個別要素法による埋設管路の水平載荷時挙動解析：河端俊典ほか
④農地地すべり抑止杭の設置位置検討における極限平衡厳密法の利用：正田大輔ほか
⑤土構造物の信頼性設計における粒子フィルタの適用：珠玖隆行ほか
⑥実務利用に向けたシンプルな DEM モデル：福元　豊ほか
技術リポート
北海道支部：農地再編整備事業が作業時間の短縮に与える効果：多田大嗣ほか
東北支部：農業用水路改修における生物生息環境への配慮：村上幸悦ほか
関東支部：両総地区におけるトンネル改修区間のコンクリート長距離圧送事例：横山晃弘
関東支部：ガーナ国における耕耘機を利用した開田の実施上の課題：廣瀬千佳子
京都支部：糸我町新池改修事業における地域景観配慮事例：山﨑俊幸
中四国支部：海部川の頭首工における多様な生物が遡上可能な魚道の設計：若林裕樹
九州支部：地下ダムにおける機能診断手法の検討：神里　守
小講座：グラウンドアンカー工法の現状と課題：酒井俊典
私のビジョン：砂漠化問題について考える～乾燥地緑化は塩類集積を解決するか？～：西田和弘

農業農村工学会行事の計画

農業農村工学会行事について，下表のように計画しています。ふるって参加下さるよう，お待ちいたしております。
Ⓑのマークは，技術者継続教育機構の認定プログラムとして認定されたもの，および認定申請中のものを表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成23年8月25，26日	農村計画研究部会	第33回現地研修集会 Ⓑ	未来への農業水利施設の継承	弘前市	79巻2号
平成23年9月6～9日	大会運営委員会	平成23年度農業農村工学会大会講演会 Ⓑ		福岡市	78巻12号 79巻1,3号
平成23年11月10，11日	農地保全研究部会	第32回研究集会 Ⓑ	中山間地域における農地保全と耕作放棄対策	甲府市	79巻4号
平成23年11月17，18日	京都支部	第68回研究発表会 Ⓑ		奈良市	79巻4号

平成23年度農業農村工学会大会講演会（福岡大会）の企業展示および広告掲載申込みについて

平成23年度農業農村工学会大会講演会運営委員会

平成23年9月6日（火），7日（水），8日（木）の3日間，九州大学で開催されます平成23年度農業農村工学会大会講演会において，企業展示を行います。展示を希望される企業は，下記要領によりお申し込み下さい。

1. 企業展示（展示会場）

九州大学箱崎キャンパス

※具体的な場所や条件は，4.(5)に記す問合せ先までお問い合わせ下さい。

2. 広告掲載

大会講演会概要集に掲載（B5判モノクロ印刷）

※概要集は大会参加者全員に配布

3. 出展料，広告料

① 広告1ページ 60,000円
② 広告1/2ページ 30,000円
③ 企業展示（屋内） 60,000円
④ 企業展示（屋外） 50,000円
⑤ 広告1ページ＋企業展示（屋内） 110,000円
⑥ 広告1/2ページ＋企業展示（屋内） 85,000円

※屋外展示の出展料にかかる基準面積については，屋内の基準面積（2.5 m×2 m）を参考にして別途協議させていただきます。

4. 申込方法

(1) 申込手順（a→b→c→d）

a（貴社） 所定の申込用紙（学会ホームページの「新着情報」に掲載）と(2)に記す展示概要（任意様式）を送付（郵送，E-mail等）

b（事務局）申込み受付後，貴社へ請求書発送

c（貴社） 振込み

d（事務局）領収書および広告掲載紙を発送（完了）

(2) 展示概要 展示する内容および必要物品等（要電源，机，イス等），希望事項（屋内スペースで○○m^2，屋外スペースで○○m^2等）等を任意様式で作成・提出して下さい（基準面積は2.5 m×2 m（屋内）です）。

(3) 申込期限 平成23年6月30日（木）まで

(4) 振込先

・金融機関：福岡銀行
・店　　名：前原支店（読み：マエバルシテン）
・店　　番：255
・預金種目：普通預金
・口座番号：2002611
・口座名義：農業農村工学会全国大会大坪政美（ノウギョウノウソンコウガッカイゼンコクタイカイオオツボマサミ）

(5) 申込み・問合せ先

平成23年度農業農村工学会大会講演会事務局
（東　孝寛宛）
〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1
九州大学大学院農学研究院
環境農学部門生産環境科学講座内
☎092-642-2919 FAX 092-642-2921
E-mail：higashi@bpes.kyushu-u.ac.jp

（問合せは，できるだけE-mailでお願いします。）

※併せて，大会参加申込みの受付をしています。

詳しくは，本誌3月号または農業農村工学会のホームページをご覧下さい。

平成 23 年度「研究グループ」の助成金募集について

研究委員会

「研究グループ」の育成を目的とし，下記取扱い内規によって研究助成を行います。

助成金額は原則 1 件 20 万円程度，3 件以内です。

本年度の申請締切は，**平成 23 年 6 月 30 日（木）**ですので，助成金を希望される方は期限までに，所定の様式（学会 HP 参照）で研究委員会委員長宛にお申し込み下さい。

試験研究機関，行政，大学，民間等からの応募を歓迎いたします。

「研究グループ」への助成金取扱い内規

1．申請：学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上，「研究グループ」への助成金の申請ができる。なお，申請者の資格は，後述の「4.助成対象」に示すとおりとする。

2．認定：研究委員会は助成金申請のあった「研究グループ」につき，その可否を認定し，学会長に報告する。

3．配布：研究委員会は認定した「研究グループ」に対し，「研究連絡費」として助成金を配布する。ただし，その配布は原則として 1 年とする。

4．助成対象：申請できる条件（助成対象）は次のとおりとする。

（イ）具体的な研究テーマをもち，しかもその研究分野が現在立ち遅れており，それを研究することが学会の研究活動の発展に対して新しい芽になりうること。

（ロ）「研究グループ」の構成は本学会員を主とし，構成員は自らその研究に携わる分担者であること。

（ハ）「研究グループ」には代表者（本学会員）をおき，構成員は原則として 3 名以上，それらの所属する機関が二つ以上あること。

（ニ）「研究グループ」のすべての構成員の年齢は，助成金申請締め切り日に 40 歳未満であること。

5．活動報告：助成金を配布された「研究グループ」は助成金配布後 1 年以内に活動報告を下記注意書き事項に留意し作成し，研究委員会に提出すること。

注 1)研究経過報告書の執筆に当たり，農業農村工学会誌原稿執筆の手引きを参考とし，学会誌刷上がり 1～2 ページに収まるようにまとめること。

注 2)「研究グループ」からの研究経過報告は研究委員会で承認の上，学会誌に掲載する。

平成 23 年度「戦略的研究申請支援」の助成金募集について

研究委員会戦略的研究推進小委員会

農業農村工学分野における戦略的研究の推進を目的とし，下記取扱い内規によって，競争的研究資金獲得をめざす研究申請書作成グループに助成を行います。助成総額は,60 万円程度(原則 1 件 20 万円以内）です。

本年度の申請締切は**平成 23 年 9 月 16 日（金）**です。助成金を希望される方は期限までに，必要事項を記入した申請様式（末尾参照）で研究委員会戦略的研究推進小委員会委員長宛にお申し込み下さい。

試験研究機関，行政，大学，民間等からの応募を歓迎いたします。

「戦略的研究申請支援」の助成金取扱い内規

1．申請：学会員は所定の申請用紙に必要事項を記入の上，「研究申請支援」の助成金の申請ができる。なお，申請者の資格は，後述の「4.助成対象」に示すとおりとする。

2．認定：研究委員会戦略的研究推進小委員会は，「研究申請書作成グループ」の申請内容（申請の意義，準備の状況，将来の展望など）を検討して，助成金の配布グループと金額を決定します。なお，この決定内容は学会長に報告します。

3．配布：研究委員会戦略的研究推進小委員会は認定した「研究申請書作成グループ」に対し，「研究連絡費」として助成金を配布する。ただし，その配布は原則として 1 年とする。可否の認定に当たっては，科学研究費補助金以外の競争的資金に応募を予定しているグループを優先します。

4．助成対象：申請できる条件（助成対象）は次のとおりとする。

（イ）具体的な研究テーマをもち，それを研究することが戦略的な意味で農業農村工学の意義と役割を対外的に示すことに貢献しうること。

（ロ）「研究申請書作成グループ」には代表者（本学会員）をおき，構成員（本学会員以外も可）は原則として 3 名以上，それらの所属する機関が二つ以上あること。

5．活動報告：助成金を配布された「研究申請書作成グループ」は，助成金受領後 1 年以内に活動報告として，作成した申請書とその提出および審査の経過を，戦略的

研究推進小委員会に提出すること。提出された活動報告は戦略的研究推進小委員会のデータベースに登録され，必要に応じて学会の研究申請支援活動に役立てられる。

「戦略的研究申請支援」の助成金申請様式

締切：平成23年9月16日（金）

申込先：戦略的研究推進小委員会委員長宛

E-mail：tkiku@jsidre.or.jp

必要記載事項：

(1) WG名（または部会名） (2) 代表者名・所属

(3) 参画者名・所属 (4) 研究テーマ名（仮）

(5) 研究の目的と内容(500字程度)

(6) 研究資金申請応募先（予定）

平成23年度農業農村工学会学術基金援助希望者募集について（再）

学術基金運営委員会

農業農村工学会では，平成3年度に学術基金制度を設け，毎年援助事業を実施してまいりました。

平成23年度は，規程第4条(1)の「特定の分野及び学術的分野に関する調査・研究の推進」，(2)の「農業農村工学の国際交流の推進」，(3)の「若手研究者の育成」の援助を実施いたします。

援助を希望される方は，学会ホームページで申請書をダウンロードして，E-mailで学会事務局あてお申し込み下さい。

記

1. 援助の対象

農業農村工学会の会員（学生会員を含む），または会員により構成されるグループ

2. 援助方針

(1) 農業農村工学に関する特定の分野および学術的分野の調査・研究の推進に寄与すると思われる研究について援助する。

(2) 平成23年度中（平成23年4月から24年3月）に海外で開催される国際学術会議への出席費用の一部を援助する。なお，自ら研究発表等を行う若手会員とする。

ただし，発表が国際会議の主催者から受理されていなくても，申請は受け付ける。

この場合は受理を条件として援助の可否について決定を行う。

(3) 若手研究者の研究に対して援助する。

3. 1件当たりの援助金の目安

1件15万円程度を限度とする。

4. 申請締切 平成23年4月28日（木）

5. 報告の義務

援助を受けた者は，調査・研究，または会議の報告書を提出し，その原稿は学会誌に掲載される。

6. 申込み・問合せ

〒105-0004

東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館3F

農業農村工学会 学術基金運営委員会

☎03-3436-3418 FAX 03-3435-8494

E-mail：suido@jsidre.or.jp

「農業農村工学会学術基金」への募金について

農業農村工学会は，農業農村工学の学術・技術の発展を通じて，わが国農業の近代化に大きく貢献できたものと自負しています。しかし，昨今の日本農業はかつてない厳しい環境におかれ，農業農村工学の役割も従来に増して一層重要なものとなり，東南アジアをはじめとして全世界的な展開が望まれる状況になっています。

そのためには，若い世代の育成，新たな技術の開発や国際交流の進展が図られなければなりません。学会は，これら諸活動に資するものとして，平成3年4月に学術基金を創設し，これに上野賞基金や冨士岡研究奨励基金を統合し，さらに法人・個人有志からの拠出金等をもってこの基金に充てることとしております。

つきましては，会員各位からの多くのご支援をいただきたく，お願い申し上げます。

なお，この学術基金による助成は，平成22年度までに56件の実績をあげています。

個人会員一口 5,000円（何口でも可）

法人会員一口 50,000円（何口でも可）

送金方法 銀行振込および郵便振替でお願いいたします。

銀行：みずほ銀行新橋支店

普通預金 No.1569058

口座名（社）農業農村工学会学術基金

郵便振替：00140-2-54031

加入者名 農業農村工学会学術基金

「水土の知（農業農村工学会誌）」閲読者の氏名公表とご協力のお礼

農業農村工学会誌編集委員会

農業農村工学会誌は，昭和4年の学会創立とともに，農業土木研究として刊行され，以来，戦中の一時期を除き，多くの方々のご協力により発行を続けてまいりました。

とりわけ，閲読者の方々には多大なるご協力をいただき，感謝申し上げます。

農業農村工学会誌編集委員会では，閲読者への感謝の意を表すべく，平成11年度から氏名を公表（五十音順・敬称略）させていただくことといたしました。

ここに，平成22年4月から平成23年3月までの期間に，閲読いただきました方の氏名を公表させていただきます。

この一年間に学会誌の内容充実にご協力，貢献いただきまして，まことにありがとうございました。ここに，お名前を記し，貢献への証しとさせていただきます。

なお，氏名の公表を辞退されている方もおられることを申し添えます。

今後とも，ご支援ご協力を賜りますよう，お願い申し上げます。

粟生田　忠男	冠　秀昭	清水　穂高	塚本　康貴	平田　将史
石井　敦	北川　巌	神宮字　寛	土田　百合子	平松　研
石田　憲治	北村　義信	菅沼　浩樹	中桐　貴生	藤井　秀人
市川　敬一郎	木原　伸英	鈴木　純	中島　正裕	藤川　智紀
井上　京	木村　和弘	鈴木　伸治	中田　摂子	堀野　治彦
岩渕　善彦	木山　正一	鈴木　正彦	中司　昇吾	本田　毅
岩間　憲治	工藤　庸介	鈴木　将英	中村　和正	松井　宏之
内川　義行	小島　信彦	大黒　理	浪平　篤	三沢　眞一
岡島　賢治	近藤　文義	高橋　寛	西野　徳康	嶺田　拓也
奥山　武彦	斎藤　邦人	瀧本　裕士	西村　直正	虫明　晋哉
小倉　力	佐久間　泰一	多田　明夫	八丁　信正	村上　章
柏木　淳一	佐藤　照男	谷本　和宏	濵田　康治	村瀬　勝洋
勝俣　孝	嶋　栄吉	谷口　智之	原田　勝利	弓削　こずえ
河地　利彦	島田　正志	田村　孝浩	姫野　靖彦	吉田　貢士
川邊　昭弘	清水　克之	千葉　克己	肥山　浩樹	渡邉　文雄

「農業農村工学会論文集」閲読者の氏名公表とご協力のお礼

農業農村工学会論文集編集委員会

農業農村工学会論文集は，昭和35年10月発行の「農業土木研究別冊1号」から教えて，平成23年4月には，通算272号を数えることとなりました。投稿される論文数も年々増加し，その分野も徐々に広がりつつあります。このような環境の中で，閲読者各位のご支援・ご協力によって，つつがなく271号までの刊行が可能でありましたことを，深く感謝申し上げます。

農業農村工学会論文集編集委員会では，感謝の意を表したく，平成11年度から閲読者を公表（五十音順・敬称略）させていただくことといたしました。

ここに，平成22年4月から平成23年3月までの期間に投稿原稿を閲読いただきました閲読者の氏名を公表させていただきます。

この一年間，論文集に掲載されるにふさわしい内容の維持にご協力いただきまして，まことにありがとうございました。ここにお名前を記し，貢献への証しとさせていただきます。

なお，氏名の公表を辞退されている方もおられることを申し添えます。

今後ともご支援・ご協力を賜りますよう，よろしくお願い申し上げます。

相木　寛史	足立　久美子	池田　裕一	伊藤　健吾	井上　一哉
粟生田　忠雄	有田　博之	石井　将幸	伊藤　健二	猪迫　耕二
赤江　剛夫	安中　武幸	石黒　覚	伊藤　良栄	今井　敏行
東　淳樹	飯田　俊彰	泉　完	糸長　浩司	上田　哲行
東　信行	飯山　一平	一恩　英二	稲垣　仁根	宇波　耕一

梅村 順
遠藤 和子
大上 博基
大久保 博
大澤 和敏
大澤 啓志
大谷 順
大平 裕
岡島 賢治
緒方 英彦
尾﨑 保夫
柿野 亘
粕渕 辰昭
加藤 亮
壁谷 直記
河口 洋一
川本 治
冠 秀昭
北辻 政之
北村 義信
木全 卓
桐 博英
九鬼 康彰
工藤 庸介
久保 成隆
久米 崇
倉島 栄一
黒田 久雄
小出水 規行
小島 信彦
後藤 眞宏
小林 晃
小林 範之
小林 久
近藤 高貴
齊藤 忠臣
斎藤 広隆
酒井 一人
酒井 俊典
坂井 勝
坂田 賢
坂田 寧代
坂本 誠
櫻井 雄二
佐藤 周之
佐藤 弘行
塩沢 昌
嶋 栄吉
島 武男
島田 正志
白谷 英作
神宮字 寛
図司 直也
鈴木 哲也
鈴木 正貴
関根 雅彦
髙木 強治
高田 雅之
高田 龍一
高松 利恵子
瀧本 裕士
竹内 潤一郎
竹内 康
竹下 伸一
竹田 宣典
武田 育郎
竹村 武士
多田 明夫
駄田井 久
立石 卓彦
田中 賢治
田中 勉
田中丸 治哉
谷本 岳
田村 孝浩
樽谷 啓之
丹治 肇
近森 秀高
知花 武佳
張 鋒
東城 清秀
常住 直人
取出 伸夫
中 達雄
中尾 誠司
中桐 貴生
長坂 貞郎
中嶋 勇
中園 健文
中野 恵子
中村 公人
中村 恭志
中村 真人
長東 勇
西田 一也
西村 伸一
西村 拓
西脇 淳子
根岸 淳二郎
登尾 浩助
橋本 禅
長谷川 周一
服部 俊宏
濱上 邦彦
浜口 俊雄
林田 寿文
林田 洋一
原 隆史
原口 智和
原口 暢朗
治多 伸介
東 孝寛
菱沼 竜男
秀島 好昭
平松 研
廣瀬 裕一
福田 信二
福與 徳文
藤川 智紀
藤咲 雅明
藤澤 和謙
藤原 拓
藤原 正幸
細井 文樹
堀 俊和
前田 滋哉
万木 正弘
槙平 龍宏
牧野 知之
松井 純
松井 宏之
松尾 芳雄
松下 京平
松野 裕
丸居 篤
三沢 眞一
水谷 正一
三原 真智人
宮里 圭一
三輪 弐
宗岡 寿美
村上 章
村上 茂樹
村上 拓彦
望月 秀俊
籾井 和朗
森 淳
森 牧人
森 也寸志
森井 俊広
守田 秀則
諸泉 利嗣
安田 陽一
山岡 賢
山川 優樹
山口 秀文
山下 裕作
山下 良平
山本 清仁
山本 忠男
弓削 こずえ
柚山 義人
吉川 夏樹
吉田 貢士
吉田 修一郎
吉永 育生
吉野 邦彦
吉村 亜希子
米澤 千夏
渡邉 文雄
渡部 恵司

学会誌掲載報文等による CPD 通信教育の参加者募集 !!

行事企画委員会
技術者継続教育機構 CPD 運営委員会通信教育部会

学会誌を出典とした CPD 通信教育を実施しております。学会誌購読による自己学習で最大年間 10 CPD ポイント，また，通信教育で最大年間 24 CPD ポイントが取得できますので，是非，通信教育にご参加下さい。

1. 参加会員の募集

参加をご希望の正・学生会員で，かつ CPD 個人登録者は，農業農村工学会のホームページ(http://www.jsidre.or.jp/cpd)にある参加申込書に必要事項を記入してメール（E-mail：kaito@cpd.jsidre.or.jp）あるいは FAX(03-5777-2099)でお送り下さい。

なお，この機会に農業農村工学会への入会，また，技術者継続教育機構への登録を希望される方は，同様にホームページ(http://www.jsidre.or.jp，http://www.jsidre.or.jp/cpd）に申込様式がありますので，ご記入の上お申し込み下さい。

2. 申込期限 参加は，いつからでも可能です。

3. 内 容

問題は3カ月前の学会誌の報文等から，CPD運営委員会通信教育部会が作成し掲載します。

問題は択一式で，毎回10問出題します。報文の事実的内容から作成します。回答はメール（E-mail：kaito@cpd.jsidre.or.jp）で機構に送信していただきます。

採点の結果，7割以上正解で1.5 CPDポイント，満点で2.0 CPDポイントが取得でき，CPD個人登録者の継続教育記録に自動的に登録されます。

解答は技術者倫理に則り，自らの責任において作成していただきます。

4.　参加費

学会会員のための行事の一環として実施するため，学会が必要経費を負担しますので，当分の間，通信教育参加費は無料です。

5.　通信教育受講者の特典

採点結果は自動入力されますので，毎年4月中に取得した点数を希望者にお知らせし，5月上旬から希望により有料で「CPD取得証明書」を発行します。

農業農村工学会災害対応調査団専門別調査団員登録についてのお願い

災害対応特別委員会

農業農村工学会では，近年における地震，豪雨等による災害が各地で発生し，農地・農業用施設等に甚大な被害をもたらしている状況に鑑み，それら災害の原因究明，復旧対策工法の採用等に対する支援を行う組織として，災害対応特別委員会を設置しています。

この災害対応特別委員会では，「①農地・農業用施設に甚大な被害が発生した自然災害」，「②学術的見地から緊急調査が必要と判断される自然災害」に対して，災害発生後，直ちに災害対応調査団を派遣し，調査の実施，復旧支援を行う体制を整備しています。

そこで，災害対応調査団を組織しなければならない事態が生じた時に，早急に対応できるよう，調査団のメンバーに加わっていただける方は事前に登録をお願いします。審査の結果，登録された会員は，災害対応調査団候補者名簿（2年ごと更新）に記載して，緊急災害時等の場合に現地調査を行っていただきます。

なお，災害対応調査団の団員の資格および派遣の条件は，以下のとおりです。

① 調査団の候補者は，高度な専門知識を有する農業農村工学会員とする。

② 派遣する調査団員は，候補者名簿の中から選定する。

③ 調査団の派遣期間は，原則2～3日とする。

④ 調査団派遣に関わる旅費は，農業農村工学会が後日精算する（年度予算限度額300万円）。

⑤ 調査団員に対して，調査に必要と考えられる保険を掛ける。

⑥ 調査団は，調査結果を速やかに報告する。

上記の趣旨をご理解のうえ，学会事務局FAX 03-3435-8494，E-mail：saigai@jsidre.or.jpまでお申し込み下さい。様式は農業農村工学会ホームページ（http://www.jsidre.or.jp）よりダウンロードして下さい。多数のご参加をお待ちしております。

なお，登録いただいた個人情報は，災害対応調査にのみ活用し，適切に取り扱います。

平成24年の表紙写真の募集

学会誌編集委員会

学会誌編集委員会では，平成24年も引き続いて皆さまからの写真で表紙を飾ることとします。**今回の募集からテーマが変わりました。**趣旨をご覧のうえ，ご応募下さい。

趣　旨

わが国において，土や水を取り扱う技術の歴史は農業とともに発展してきました。農業の発展の過程で造られてきた幾多の農業施設は，農地を形成し，水を送り，物と人をつなぎ，連綿と我々の生活を支えてきました。これらの農業施設のいくつかは，長年の風雨にさらされながらも，機能を保ち続け，その地域の自然や文化に溶け込み，農村の景観を形成する重要な構成要素となっているものもあります。地域の人の悲願をかなえ続けてきたこれらの農業施設や構造物は，地域の人々によって大切に守り，管理された結果，四季折々に機能美と景観美を放ち続けているはずです。

農業農村の現場で活躍される皆さま，日ごろ何気なく見過ごしているかもしれない農村地域における農業施設・構造物とそれを含む景観の美しさを再評価いただいて，忙しい業務の合間にも，足を止め，手を休めて写真として記録していただき，広く一般の方々にご紹介下さい。

記

1.　テーマ

「農村地域における農業施設・構造物：先人たちの技術と苦労が垣間見える造形美」

2.　対象巻号

学会誌第80巻（平成24年1～12月号）

3.　写真の種類

単写真，組写真いずれもカラープリントで（デジタルカメラの場合はJPEGファインモードまたはTIFFモードに設定）撮影して下さい（サイズは六ツ切）。組写真の場合は，その旨明記して下さい。

4.　枚　数

応募写真に制限はありませんが，未発表のものに限ります。

5.　締　切　秋季～冬季　平成23年3月31日
春季　平成23年6月30日
夏季　平成23年9月30日

6.　審　査　審査委員会（編集委員と写真家）で選考します。

7.　結果発表

学会誌第80巻第1号で採用作品と掲載号を発表し，採用作品は平成24年度大会会場でパネル展示します。

8.　謝　礼

採用作品には規定の賞金（1点につき3万円）をお支払いします。また，応募者には記念品をお送りします。

9.「Cover History（表紙写真由来）」について

採用作品の応募者には学会誌掲載の「Cover　History（表紙写真由来）」をご執筆いただきます。ご執筆の詳細は，採用決定時に応募者に直接お知らせします。なお，些少ですが原稿料をお支払いします。

10.　使用権

採用作品の使用権は（社）農業農村工学会に属します。

11.　注意点

審査は上記の趣旨を十分理解されている写真であるか，表紙写真の質として耐えうるかということを重視します。具体的には，農業施設・構造物の形状や機能が，その写真から十分に読みとれること（花などの情緒物に埋没しないこと），また，デジタル画像の場合は表紙に拡大したときにドット崩れしない十分な解像度があること，が採用の条件となります。

12.　応募方法および応募先

学会ホームページより，応募票をダウンロードし，タイトル，郵便番号，住所，氏名，年齢，職業，電話番号，性別，写真のテーマ，撮影場所，撮影年月日，撮影データ（フィルム，使用カメラ等），対象物の固有名称（固有名詞），対象物をめぐる歴史的背景等の説明を記入し，応募写真の裏面に貼付してお送り下さい。

なお，原則として，応募写真は返却しません。

〒105-0004　東京都港区新橋5-34-4
（社）農業農村工学会
農業農村工学会誌編集委員会「表紙写真公募」係
☎03-3436-3418　FAX 03-3435-8494
E-mail：suido@jsidre.or.jp

「水土の知（農業農村工学会誌）」への投稿お待ちしております！

学会誌編集委員会

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には，農業農村工学会ホームページに掲載の「農業農村工学会誌投稿要項」，「農業農村工学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上，ご投稿下さい。

学会誌79巻の小特集のテーマ

小特集テーマ		要旨締切（A4判 1,500字以内）
79巻　6号	九州の地域特性に合わせた農業農村整備	公募なし
7号	縮小する社会における農業農村整備のかたち（仮）	公募終了
8号	若者や消費者と農業・農村のかかわり（仮）	公募終了
9号	農業土木遺構にみる技術の粋（仮）	平成23年4月25日
10号	愛知用水通水50周年（仮）	公募なし

今後取り上げてほしい小特集のテーマについても，広く募集しておりますので，学会誌編集委員会あてにお寄せ下さい。なお，小特集テーマが仮題となっているものは，予告なく変更することがございます。

採用された原稿の分量は，**刷上り4ページ**となっておりますので，ご執筆の際には**厳守**いただきますよう，お願いいたします。

送付先　〒105-0004　東京都港区新橋5-34-4
（社）農業農村工学会　学会誌編集委員会あて
☎03-3436-3418　FAX 03-3435-8494
E-mail：henshu@jsidre.or.jp

79巻9号テーマ「農業土木遺構にみる技術の粋」（仮）

2009年8月に「水土を拓く―知の連環―」が出版され，各地の農業展開と国土開発に寄与する農業工学の功績が網羅的に整理された。そこに紹介された事業や施設は今日もなお現役で活躍するものも多く，当時の技術者の自然に対する洞察力の高さ，測量や力学に対する造詣の深さをうかがい知ることができる。

今回の小特集では，当時の「技術力」が凝縮された農業土木遺構に着目し，地域社会の課題に「技術」で応えてきた農業工学の歴史を振り返り，「技術力」を持って社会的課題に対峙する農業農村整備の立脚点を再確認したいと思います。

そこでこの特集号では，過去に築造された施設や工法に込められた「技術」に焦点をあて，それを現代の技術や視点から捉え再評価した内容の原稿を募集いたします。正確な配水を担保するための分水施設の仕掛け，排水性と地盤支持力に優れた石積みの工法，流路や通水を検討する際の測量技術，隧道内の地盤崩落を防ぐ掘削方法など，有名無名また規模の大小は問いません。農業土木遺構の紹介に留まることなく，そこに込められた「技術の粋」を現代の科学的知見から紐解き，農業工学の社会的意義を再確認するとともに，これからの農業工学とそれに携わる技術者に活力を与える原稿を広く募集します。

国際学会「国際水田・水環境工学会」への入会のお願いと国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」について

国際水田・水環境工学会（International Society of Paddy and Water Environment Engineering：PAWEES）は，機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を発行しています。

本ジャーナルは，モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文，技術論文が多数掲載されますので，研究者のみならず，各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方々が国際学会へ入会されることを希望します。

掲載論文の分野は，次のように幅広い内容となっています。

① 灌漑（水配分管理，水収支，灌漑施設，栽培管理）
② 排水（排水管理，排水施設）
③ 土壌保全（土壌改良，土壌物理）
④ 水資源保全（水源開発，水文）
⑤ 水田の多面的機能（洪水調節，地下水涵養など）
⑥ 生態系の保全（水生，陸生動植物の生態系）
⑦ 地域計画（農村計画，土地利用計画など）
⑧ バイオ環境システム（水田農業と水環境，土壌環境，気象環境）
⑨ 水田の多目的利用（田畑転換，施設園芸）
⑩ 農業政策（農村振興，条件不利地の支援策など）

水田農業を通した国際的な研究交流，情報交換の場として，皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと，会員には国際ジャーナルが，年4回無料で配布されます。

出版社：Springer-Verlag 社（ドイツ）
発行スケジュール：年4回（3，6，8，12月）
国際学会会費：**正会員 12,000 円**/年/4 冊（送料等学会負担）
学生会員（院生含む）8,500 円/年/4 冊（送料等学会負担）
申込先：農業農村工学会編集出版部　中村あて
ホームページ：http://www.jsidre.or.jp
※入会のお申込は，学会ホームページ（http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm）の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ，メールまたは FAX でお願いいたします。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿のお願いと2009年1月から2011年12月までの編集事務局（投稿先）のお知らせ

国際水田・水環境工学会（International Society of Paddy and Water Environment Engineering）の機関誌，国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」は，2011年3月末に Vol. 9，No. 1 が発行されました。

本ジャーナルは 2009 年 12 月より，トムソン・ロイター社の SCIE（Science Citation Index Expanded）に収録されています。わが国においても学術誌の評価に，SCIE の IF（Impact Factor）が利用されており，本国際ジャーナルでも IF の取得により高い評価を得ております。

また，世界 13 カ国から Editor（23 名）を選出することにより，国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし，さらに国際的な流通を考慮して，国際出版社として著名な Springer-Verlag 社からの刊行です。掲載論文は，Review，Article，Technical Report および Short Communication の 4 種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに，年4回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りますが，**投稿料，掲載料などを無料**として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

2009年1月から2011年12月までの編集事務局（投稿先）は，台湾です。なお，2010年10月1日付で，これまで編集長を勤めていただいた中野芳輔先生から，溝口　勝先生に編集長の交代がありました。

投稿先：Yu-Pin Lin，Ph. D.，Professor
Department of Bioenvironmental Systems Engineering National Taiwan University
No. 1, Sec. 4, Roosevelt Road，Taipei, 10617 Taiwan（R. O. C）
E-mail：yplin@ntu.edu.tw

TEL：＋8862-2-3366-3467　FAX：＋8862-2-2363-5854
(During Jan. 2009 to Dec. 2011)

編集方針：水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は，水田農業地帯における灌漑と排水，土壌保全，土地資源や水資源の保全と管理，水田の多面的機能，農業政策，地域計画，バイオ環境システム，生態系の保全，水田保全，田畑輪換等である。

編集体制

・**Editor-in-Chief**：**Dr. Masaru Mizoguchi**（Japan）
Graduate School of Agricultural Sciences, University of Tokyo, Tokyo, Japan

・**Editors**　13カ国から23名

・**Editing Board**　35名

・**Managing Editors**

Chief Managing Editor：**Prof. Dr. Yu-Pin LIN**
Department of Bioenvironmental Systems Engineering, National Taiwan University, Taipei, Taiwan, Rep. of China

Prof. Dr. Yoshiyuki SHINOGI
Faculty of Agriculture, Kyushu University, Fukuoka, Japan

Prof. Dr. Haruhiko HORINO
Graduate School of Life and Environmental Sciences, Osaka Prefecture University, Osaka, Japan

Dr. Kazunari FUKUMURA
Department of Agricultural Environmental Engineering, Utsunomiya University, Utsunomiya, Japan

Prof. Dr. Jin-Yong CHOI
Department of Landscape Architecture and Rural System Engineering, Seoul National University, Seoul, Korea

出版社：Springer-Verlag社（ドイツ）

投稿資格：**筆者全員が国際学会員**であること。

投稿要領等：http://www.jsidre.or.jpに詳細を記載しています。

第68回京都支部研究発表会の開催について（第1報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中

1.　研究発表会

(1)　日時　平成23年11月17日（木）10：00～17：00

(2)　場所　奈良県文化会館
〒630-8213　奈良県奈良市登大路町6-2
☎0742-23-8921（代）

2.　情報交換会　日時　平成23年11月17日（木）
18：00～20：00

3.　現地研修会　日時　平成23年11月18日（金）
9：00～16：00

4.　研究発表申込み

研究発表者は，投稿原稿に先立ち，6月末日までに，①表題（仮題でも可），②発表者名，所属，年齢（研究奨励賞対象者のみ），③連名者名，所属，年齢（研究奨励賞対象者のみ），④希望発表部門（水理，水文・気象，土壌物理，土質力学，応用力学，材料・施工，灌漑排水，農地造成・整備・保全，農村計画，環境保全，生態環境，地震・その他），⑤発表者の連絡先電話番号，⑥発表者のE-mailアドレスを箇条書きにしたメールを下記の発表申込先・神戸大学長野宛でご送付下さい（件名を「発表申込み」として下さい）。メールアドレスをお持ちでない場合はCD（txtファイル）を郵送下さい。ただし，発表者は学会員に限らせていただきます。

なお，京都支部では，大学，短期大学，研究期間に所属する発表時35歳以下の会員（学生会員も含む）によって口頭発表された優秀な研究に対し，研究奨励賞を授与しています。同賞の受賞基準に該当する方（35歳の連名者を含む）は，必ず申込書に年齢を記入して下さい。

投稿原稿に関する詳細な要領は6月号を参照して下さい。

5.　発表申込先

〒657-8501　神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学大学院農学研究科　長野宇規
TEL&FAX 078－803－5904
E-mail：naganot@ruby.kobe-u.ac.jp

6.　申込期限

(1)　発表申込　平成23年6月末日

(2)　原稿締切　平成23年7月末日

(3)　参加申込　平成23年8月末日

7.　問合せ先

奈良県農林部農村振興課内
第68回農業農村工学会京都支部研究発表会運営委員会事務局　担当：寺本，外薗，乾
☎0742-27-7463（直通）　FAX 0742-24-5179
E-mail：hokazono-toshio@office.pref.nara.lg.jp
inui-hiroki@office.pref.nara.lg.jp

農地保全研究部会第32回研究集会の開催について（第1報）

技術者継続教育機構認定プログラム申請中

1.　開催日

(1)　研究集会　　平成23年11月10日（木）

(2)　現地研修会　平成23年11月11日（金）

2.　場　所

(1)　研究集会　　ベルクラシック・コンチェルト
山梨県甲府市（甲府駅北口　徒歩3分）

(2)　現地研修会　山梨県北杜市周辺

3.　研究集会テーマ（予定）

中山間地域における農地保全と耕作放棄対策

4.　問合せ先

〒156-8502　東京都世田谷区桜丘1-1-1
東京農業大学生産環境工学科農地環境工学研究室　藤川智紀
E-mail：t3fujika@nodai.ac.jp
☎03-5477-2340　FAX 03-5477-2620

5.　その他　詳細は本誌6月号に掲載予定。

地域環境工学シリーズ8

食と環境をまもる水田づくり

―新しい水田整備工学―　　（社）農業農村工学会発行

目　次

はじめに
Ⅰ．水田整備のあゆみと課題
　1．わが国の水田整備のあゆみ
　2．新しい水田整備の背景
Ⅱ．水田整備の基礎
　1．農地組織
　2．土壌・土層改良
　3．換地
　4．計画
Ⅲ．大区画化水田整備
　1．大区画化という課題
　2．大区画化の現状
　3．大区画水田の農地組織
　4．諸外国の大区画水田
　5．大区画水田での耕作
　6．低コスト化のための関連技術
　7．２１世紀の大区画水田
Ⅳ．中山間地域の水田整備
　1．固有の地域条件と水田整備の必要性
　2．中山間地域における圃場形態の特徴と整備課題
　3．中山間地域に適合的な圃場形態
　4．維持管理労働と区画の形状
　5．安全性の向上と圃場形態
　6．圃場整備計画作成支援システム
　7．維持管理も考慮した計画・整備の必要
Ⅴ．水田の多面的環境機能の回復と強化
　1．はじめに
　2．水田圃場整備における生態系の保全
　3．歴史的水田景観の保全
　4．土・水環境の保全
　5．新たな農村景観の創出
Ⅵ．土地利用秩序の形成
　1．土地利用秩序形成の課題
　2．土地利用秩序形成のための換地手法
　3．農地と宅地の利用調整
　4．社会資本整備等のための用地捻出

Ａ５判　約210ページ　定　価3,300円（税込・送料学会負担）
会員特価2,900円（税込・送料学会負担）
〔会員特価は，個人会員による前金購入の場合のみ適用されます〕

申込先　〒105-0004 港区新橋5-34-4
（社）農業農村工学会
☎03-3436-3418 FAX03-3435-8494

地域環境工学シリーズ9

食の安全と地域の豊かさを求めて

―新しい畑整備工学―　　（社）農業農村工学会発行

目　次

Ⅰ．わが国の畑作の歴史と特徴
　1．わが国における畑作の歴史
　2．営農形態別の特徴
　3．畑整備の現状
　4．国際情勢，社会情勢の変化
　5．中山間地域における畑整備
Ⅱ．畑整備の基礎
　1．作物と水
　2．畑地基盤と畑作農業
　3．畑地の整備手法
Ⅲ．畑整備の今後の展開方向
　1．畑整備における技術的課題
　2．新たな畑整備の展開
Ⅳ．畑整備と地域環境管理
　1．土壌侵食防止
　2．持続的農業のための土管理
　3．畑作と環境保全
　4．環境との共存をめざした畑作の将来像

Ａ５判　約210ページ　定　価3,300円（税込・送料学会負担）
会員特価2,900円（税込・送料学会負担）
〔会員特価は，個人会員による前金購入の場合のみ適用されます〕

申込先　〒105-0004 港区新橋5-34-4
（社）農業農村工学会
☎03-3436-3418 FAX03-3435-8494